

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	38442	
事業名	商店街商業機能向上支援費						
評価担当課	所属名	経産産業振興部 商業・経営支援					
	課長名	西村	担当者名	秦	電話番号	011-211-2372	
施策名	主	中小企業・小規模企業や商店街など、事業を営むすべての活動が活					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	①商店街区での新規店舗開業を支援することで、商店街区でのにぎわいを創出し、活性化につなげる。②商店街区にある既存の店主を中心としたグループの新商品・サービス開発を支援することで、個店の売上増、間接的には商店街区の活性化につなげる。				
		長期	商店街区における新規店舗の開業や新商品・新サービス開発を支援することで、商店街区の商業集積を図るとともに、消費者である地域住民にとっての商業地としての魅力を高める。				
	取組内容	①【商店街区におけるストック活用型商い創出事業】 商店街区にある空き店舗・空き家を活用して開業する個人事業主・中小事業者に対し、開業に係る費用の一部を補助する。 ②【事業者グループによる新商品・新サービス開発支援事業】 商店街加盟店の店主を中心とした事業者グループによる、新商品・新サービスの開発に対し、経費の一部を補助する。					
	実施結果	①5件の飲食店開業の補助を行い、商店街区のにぎわいや活性化に繋がったことから、一定の成果があった。 ②店主からの事前相談は何件もあったものの、新型コロナウイルス感染拡大による影響で、実施には至らなかった。					
事業実施における工夫点	商店街の活性化に繋がる新商品・新サービスをより創出しやすくするため、商店街加盟店に限らず、外部の専門家や学生などと連携する場合も対象としている。						
対象者	個人事業主、中小企業			開始	令和2 年度	終了	令和4 年度
関連法令・条例・要綱等	商店街振興組合法、中小企業基本法、日本標準産業分類						
他都市の状況	①南砺市「空き店舗対策支援事業補助金」補助率1／2、上限200万円 ②氷見市「まちなか空き店舗等出店支援事業補助金」補助率1／2、上限200万円						

◎事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費	2,138	16,000	8,621	31,000
うち特定財源	0	0	0	0
人工	1.3	1.3	1.3	1.3
人件費	9,360	9,360	9,360	9,230
計(事業費+人件費)	11,498	25,360	17,981	40,230
事業費	令和4年度決算	8,621千円 〔内訳〕 ストック活用型商い創出事業:8,483千円 新商品・新サービス開発支援事業:0千円 その他:138千円		
の内訳	令和5年度予算	31,000千円 〔内訳〕 新商品・新サービス開発支援事業:6,000千円 集客力アップ事業:25,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	補助事業による商店街区の新規開業数(累計)							
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
		2	7	7						
活動指標2		指標名	補助事業による新商品・サービス開発数(累計)							
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
		1	6	1						
成果指標1		指標名	商店街の来街者や売上を網羅的に把握することができないため							
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
成果指標2		指標名								
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
項目	判定	理由								
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	①5件の申請があり、全件に対して飲食店開業の補助を行ったことで、商店街区でのにぎわいや活性化に繋がったことから、一定の成果があったものと考えている。 ②商店主からの事前相談は何件かあったものの、新型コロナウイルス感染拡大による影響で、実施には至らなかった。								
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	①他都市の同様の開業補助についてはばらつきはあるが、補助上限額は30万円から500万円、補助率は3/10から2/3であり、本市の補助上限額及び補助率は特に高い設定とはなっておらず、事業規模は適切なものと考えている。 ②他都市実施の新商品開発補助等については補助上限額200万円、補助率2/3であり、本市の補助上限額及び補助率は特に高い設定とはなっておらず、事業規模は適切なものと考えている。								
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	商店街区の空き店舗等を解消する新規店舗の出店や商店街区における新商品・新サービスなどの開発については、事業者が主体的に取り組むことが必要であるため、補助金という手法が適切と考えている(他都市においても同様の取組を補助金の形で支援している)。								
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、活動指標は未達成となってしまったものの、感染状況が落ち着いてきた際には、新たな事業活動の再開等が見込まれており、事前相談等の件数も徐々に増えていることから、対象者のニーズは捉えているものと考えている。								
市民参加の実施	☒ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外		市民参加結果への対応		☐ 回答 ☒ 反映					
今後の改善点	インターネット販売の普及に伴う消費行動の多様化や新型コロナウイルス感染拡大の影響などもあり、商店街数や商店街への加盟店数は減少傾向にあるものの、地域住民にとって商店街が大切な買い物の場であるとともに地域コミュニティ活動の重要な担い手であることは不変である。このため、引き続き、商店街活動の担い手となる新たな店舗の創出や商店主の新たな取組の支援を行うことにより、商店街の活性化を図っていく。									
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし									
今年度取り組んだ見直し内容	地域や商店街のニーズに合わせた形で事業内容の組み換えを実施した。また、商店街に向けた事業説明会のほか、商店街支援団体へ個別説明を行うなど、より一層の事業利用を促すよう努めている。			見直し効果額 (前年度)	0	千円				
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし									
評価の理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、②「事業者グループによる新商品・新サービス開発支援事業」については、令和2・3年度に引き続き申請件数は低調であったものの、開業に繋がった取組もあり、一定の成果があったため。									
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 休止・廃止								
		地域住民の買い物を支えるとともに地域コミュニティ活動の重要な担い手である商店街が持続的に発展していくため、引き続き、商店街の新たな魅力向上の創出や商店街活動の担い手確保などの組織活動の基盤強化につなげる支援を行っていく。								
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他			予算額31,000千円(予算増は事業の組み換えによるもの)					
				見直し効果額	0	千円				